

京銀、東南ア進出を支援

和食など 京都の食品関連対象

シンガポールで催し 市場拡大見込み

京都銀行が、京都の支援する取り組みを本
食関連企業を対象に 格化している。経済発
東南アジアへの進出を 展で購買力が高まって



いることから、和食や
和菓子の市場拡大が見
込めるためだ。足掛か
りとして京都のだしや
茶などを販売するイベ
ントをシンガポールで
開催中で、需要開拓を
図っている。

イベントは、日系企
業によるアジア市場の
開拓を支援する We A
gri (ワイアグリ、
東京) と共同で6月か
ら始めた。中心繁華街
のショッピングモール
にブースを設け、だし

京都銀行がシンガポ
ールで開催したイベン
トで京都の食品を売り込
む出展企業の担当者
(8月上旬)

製造販売のうね乃(京
都市南区)、コーヒー
販売の小川珈琲(右京
区)、宇治茶の祇園辻
利(東山区) など取引
先15社の商品を販売し
ている。10月下旬まで
長期開催する。

8月には、出展企業
の担当者が出席して試
食会を開き、現地の消
費者やバイヤー向けに
京都の味を大々的にア
ピールした。

東南アジアでは日本
食が人気で、日本から
の食材や加工食品の輸
出が増えている。京都
銀によると、特にシン
ガポールでは京都のブ
ランド力が強い。京都
銀がイベントを企画し
たのは取引先企業に現
地の市場やニーズを伝
えるのが狙いで、「地
元企業の持続的な事業
の展開に向け、東南ア
ジアでの支援を強化す
る」としている。

(田中俊太郎)